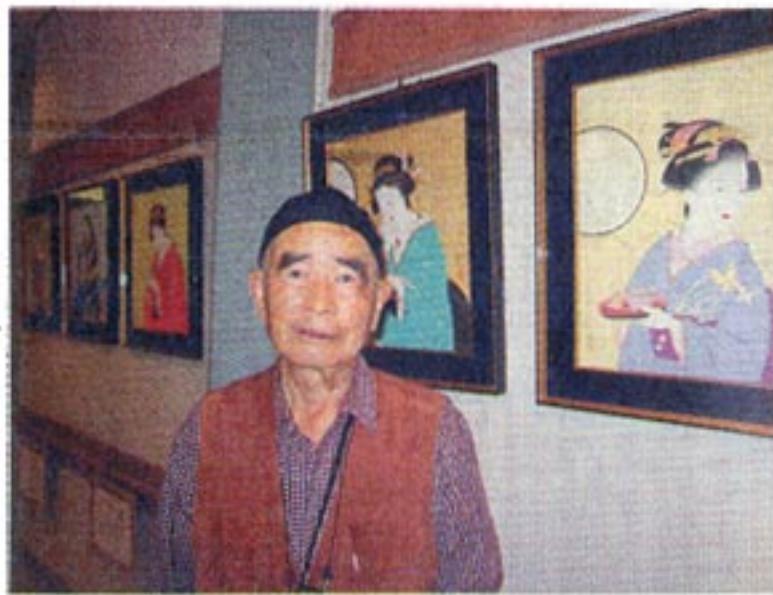


艶やかな美人画 「絵は生きがい」

83歳の白井さん個展



作品を背に元気パワーの白井さん
= 豊橋ハートセンター・ギャラリーで

83歳の男性が描いた、
みずみずしい筆致の作品
を紹介した「白井喜三郎
・美人画展」が、豊橋ハ

ートセンター内のハート
ギャラリーで今月中旬ま
で開かれている。

白井さん＝豊川市御油
町＝は今年、83歳を迎
た。若いころから絵画が
好きだったが、50歳代の
ころ勤務の余暇に刈谷市
在住の日本画家に師事。
定年後もアトリエに通い、
約10年間、みっちりと勉
強した。

その後、独自の感性に
よる美人画をモチーフ
に、生涯テーマとして取
り組んでいる。日本髪の
ほつれなどデリケートな
線は、針のような細筆で
1本1本ていねいに描
く。1点仕上げるのに一
ヶ月間を費やすといふ。

根気の要る仕事が大変
とは思わない。

（星野のりこ）

近隣の老人ホームで指
導を行うほか、個展も工
ネルギッシュに行う。今
展には6号から10号作
品16点を披露している。日
傘をさした美人の横顔
や、うちわを片手に夕涼
みの女性、客人にお茶を
一服出す女性の姿など、
艶（あで）やかなしぐさ
の美人たちがすらり。
「絵は私の生きがい。
まだまだ元気で頑張り、
楽しみながら描いていき
たい」と白井さんは話
している。